

# より良い有田市をめざして 「地球」という大きな器の中で



今夏の思い出のひとつとして楽しみにされていた「紀文まつり花火大会」は荒天続きのため（台風の影響）中止となり、残念な思いをされた方も少なくないのではないのでしょうか？ そんな皆さんのいろんな思いをしっかりと受け止めながら、過日、紀文まつり実行委員会を開催し検討した結果、9月15日に実施することを決定しました。私たちは自分たちの思いや考えの中で当たり前のように生活をしていますが、気象状況や自然環境に左右されながら生きていくのだなあとあらためて実感しながら、皆さんの協力のもと仕切り直して実施することを決めました。

700万年前だといわれており、これまで私たち人類はその地球の変化に応じて進化してきたのだと思います。しかし私たち人間が得てして錯覚に陥りやすいのは、「人間を中心とした考え」をもってしまいがちというところで、大切なことは「地球の変化に応じた人類の進化」ということなのです。まわりの環境に大きな影響を受けながら生活をし、成長している私たちは「地球」という大きな器の中で一人ひとりが自らの人生を充実させるために生活を営んでいます。そのことはすごく尊い事だと思いますが、その営みは自分中心の考えでなくて、相手を思いやる気持ちをもってすべてのことにあたるということが大切だと思ふのです。

有田市長 望月良男

## 初島分団 全国大会へ出場



全国大会ではこれまで以上に高いレベルでの競技が繰り広げられますが、初島分団の皆さん、ベストをつくしてください。頑張れ！初島分団。

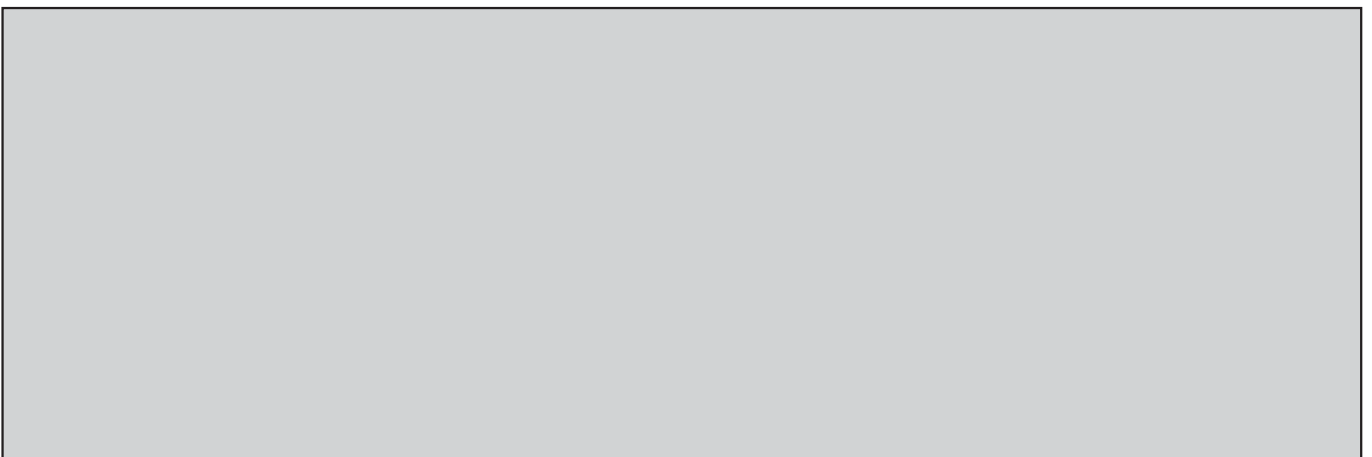
7月27日（日）、田辺市で開催された第25回和歌山県ポンプ操法大会において、有田市消防団初島分団がポンプ車操法の部で優勝し、11月8日（土）東京で開催される第24回全国消防操法大会に和歌山県代表として出場することとなりました。

団員の皆さんからは「まさか優勝できるとは思ってもしなかったのですが、この結果は周りのサポートがあったからこそ。9月から全国大会に向けた厳しい練習が始まりますが、自分たちの力が全国でどれだけのものなのか試す絶好の機会。有田市そして和歌山県の誇りを胸に、頑張ってきます！」と力強いコメントをいただきました。



（左から）堀江俊博さん、橋中計治さん、松下皇太朗さん、岡川昌史さん、黒崎大祐さん※後列3人は消防隊員

広告 市収入の一部とするため有料広告を掲載しています。



この広報紙は地球環境保護のために、再生紙と植物油インクを使用しています。